

他都市の家庭系生ごみ資源化事業（モデル・予定含む）

		政令市					県内		
		札幌市	千葉市	横浜市	名古屋市	京都市	聖籠町	長岡市	上越市
堆肥化	実施期間	H20～(モデル)		H20～H21(モデル)	H15～H20(モデル)		H18～(モデル)		
	収集方式	拠点		戸別	戸別		ステーション		
	収集ペース	週1回		週2回	週2回		週5回(冬期は週3回)		
	回収容器等	フタ付バケツ(世帯ごと)		専用容器	専用ポリ袋 ※参加世帯に排出用生ごみ専用袋と水分調整材(おがくず)を毎月配布		ポリバケツ(60L)		
	対象世帯数	744世帯		約400世帯	約7,500世帯		約1,500世帯		
	処理施設	民間施設		民間施設	民間施設		直営施設		
	今後の予定又は終了理由	終了時期は未定		【終了理由】 検討の結果、環境負荷や費用対効果の面で、家庭系生ごみの資源化手法はバイオガス化が優位と判断。	【終了理由】 ・高コストであるため ・焼却施設更新時にバイオガス化も含め再検討予定。		・H24から全町での分別収集に移行予定。		
バイオガス化	実施期間		H19～(モデル)	H21～(モデル)		H20～H21(モデル)		H25開始予定	H12～(H20全市拡大)
	収集方式		ステーション	ステーション		戸別、定点		ステーション	ステーション
	収集ペース		週2回	週2回		週2回		週2回	週3回
	回収容器等		専用ポリ袋	専用ポリ袋		専用ポリ袋		専用ポリ袋	専用ポリ袋(再生プラ製)
	対象世帯数		約2,760世帯	約900世帯		約2,200世帯		全100,000世帯	全72,000世帯
	処理施設		民間施設	下水処理場のガス化施設		直営施設		直営施設(PFI)	民間施設+直営施設
	今後の予定又は終了理由		平成23年度中に今後について判断。	・H22策定の新計画で拡充方針を明示。		【終了理由】 ・臭いや分別が住民の負担となるため。			